

あたらしい年になりました

県議会議員

わたなべ美穂です!

わたなべ美穂後援会会長挨拶

令和5年を迎え、初春のお慶び申し上げます。

4年前の県議選のさなか、新元号が太宰府ゆかりの「令和」に決まった驚きは今も忘れません。「初春の令月にして気淑（よ）く風和らぎ」。ところがその翌年の正月頃から世界は新型コロナウイルスに翻弄されてきました。科学の力でだんだんと正体が解明され、ワクチンや治療薬も整ってきつつあります。少なくとも当初に比べると行動制限はずいぶん緩和されました。令和5年が皆さまにとって良い一年でありますように。

さてこの間わたなべ美穂は県議2期目の日々にあって、福岡県議会に8つある常任委員会のうち県民生活商工委員会の委員長などの役職を務める一方、年4回の定例会での代表質問・一般質問にも積極的に取り組み、皆さまの声を県政に届けてまいりました。

その原動力になっておりますのが、皆さまのお声を直接聞かせていただく県政報告会（囲む会）ですが、これも行動制限緩和のなか感染防止策を採りながら太宰府市内44自治会単位で回を重ねているところです。

後援会は引き続きわたなべ美穂を支えてまいります。皆さまにおかれましても、わたなべ美穂ならびに後援会に一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、年頭に当たりお願い申しあげる次第です。

わたなべ美穂後援会 会長 大藪善治

全国障害者スポーツ大会 太宰府市から2名金メダル!

10月29日から開催された第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」開会式に、所管の委員長として選手団141名と共に入場行進し、選手を激励しました。秋篠宮ご夫妻ご臨席のもと開催された同大会において、福岡県は金17個、銀12個、銅12個の合計41個という素晴らしい成績を収めました。太宰府市からも陸上競技立ち幅跳びで吉野菜月さんが、陸上競技1500mで片平留依さんが金メダルを獲得されました！おめでとうございます！



12月議会報告

一般質問

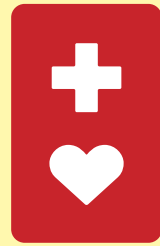
①2024年6月施行予定の「改正障害者差別解消法」では民間企業においても障がい者への「合理的配慮」が義務化されることから、今後啓発や周知がより一層必要になります。外見からわかりづらい障がい、たとえば精神障がいがある方は、国内で2018年392万人から2020年419万人に増加しています。そこでまず、外見からわかりづらい障がい者について、県が作成しているガイドブックや動画、ヘルプマークの活用実績やこれからの取り組みについて質しました。そのうえで地域でサポートできる体制づくりについて県の考えを聞きました。県は県職員・事業者それぞれに向けて今後積極的にガイドブックなどを活用し、地域に向けては認知症サポーター研修の際に障がい者向けの研修動画の紹介を行うなど、サポーターのすそ野を広げる努力をすると答弁しました。また市町村と連携して課題を共有し、現在約1万個利用されているヘルプマークのさらなる拡大をめざすとしました。

②次に、外国籍の方は2013年230万人から2021年270万人と増加しており、違いがある人たちとの共生は日本社会の今後の大きな課題となります。外国籍の方への対応について、「やさしい日本語」や指差しボードなどの活用を、窓口業務など接客を行う各種事業所に対して広めることを求めました。県はコミュニケーションの重要性を認めた上で民間企業に向け新たな仕組みを作っていくと答弁しました。

※合理的配慮は、障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することが求められるものです。
(内閣府リーフレットより)



ヘルプマークは、外見からは分からなくても援助が必要な方が身につけるマークです。



助け合いのしるし
ヘルプマーク

困む会 県政報告会のご案内

日時 1月22日(日) 10時30分

場所 水城共同利用施設

日時 1月29日(日) 14時

場所 大佐野公民館

どなたでもどこの地域でもご参加いただけます。

母校で講義

わたなべ美穂は毎年、母校筑紫女学園大学で「夢ってなんだろう」というタイトルで後輩に講義を行っています。



WEBサイトもご覧ください!

「皆さんの声をお聞かせください!」

あなたとつなぐ県政 わたなべ美穂事務所

〒818-0125 太宰府市五条3-4-38 電話:092(918)1121 FAX:092(918)1128

